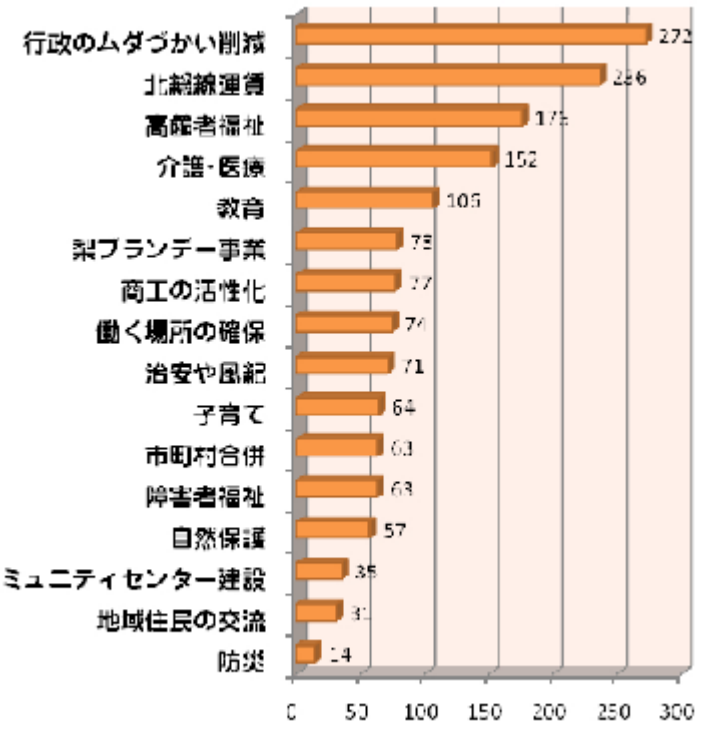
平成19年(2007)
しろい通信
4月特別号
vol.26

〒270-1423
白井市南山1-3-8-101
TEL(047)492-2396
FAX(047)492-2364
編集人／草野富佐子
発行人／幸正純治

本紙「市民アンケート」555人の回答

「行政のムダづかい」「北総鉄道運賃」「高齢者福祉」がベスト3

地方統一選が間近に迫っている。各候補者に白井市民が一番何を望んでいるのか。本紙では2月中旬から3月18日にかけ、市民の意識調査を兼ねた「市民アンケート」を実施した。アンケートに回答した市民は、本紙の予想を大幅に上回り、なんと555人。白井市の人口が5万5230人（2月末日現在）だから、約100人に1人が回答を寄せたことになる。大手新聞社やテレビ局のアンケート調査では、500人から2000人程度が普通だ。本紙のアンケート調査に対する回答者数がいかに多いかわかるだろう。（詳細なデータをご希望の方は「しろい通信」にご連絡下さい）



市民百人に1人が回答した！

アンケート回答者の性別は、男性252人、女性297人、未回答6人。年齢は「55～64歳」がもっとも多く144人、次に「65歳以上」126人、「35～44歳」91人、「45～54歳」86人、「25～34歳」50人と続く。

職業も「会社員」173人を筆頭に、「パート・フリーター」95人、「専業主婦」87人、「学生」34人、「自営業」32人と幅広い。それぞれの質問に対する回答を検証してみたい。

梨ブランデーへの関心そこそこ

●4月の白井市議会選挙に関心がありますか？―「とても関心がある」167人と「少し関心がある」284人を合わせると関心派は451人、「まったく関心がない」91人を大きく上回り、関心の高さを示している。

●白井市では、どの課題が重要だと思いますか？（複数回答、3つまで）―「行政のムダづかい削減」が272人ともっとも多く、「北総線運賃」236人、「高齢者福祉」176人、「介護・医療」152人と続く。トップ項目は予想通りだが、高齢化対策を求める声が多いのに注目すべきだ。一方、「梨ブランデー事業」78人、「コミュニティセンター建設」35人と意外と関心が低い。

「親しみやすさ」より政策で選ぶ

●議員の公約やマニフェストを重視しますか？―「参考にする程度」257人がトップで、「大いに参考にする」195人を上回った。いずれにしても、政策を重視する傾向であることは確かだろう。

●議員の資質として特に重要なことは何だと思いますか？（複数回答、2つまで）―「決断力・行動力」280人と「真面目さ・責任感」270人がほぼ同数。「親しみやすさ」は64人と下から2番目で、有権者のレベルの高さを物語る。

合併は住民投票を尊重すべき

●市町村合併は必要だと思いますか？―「今はまだ必要ではない」336人が「必要である」と思う」181人よりも多いが、近い将来、合併問題が再浮上して激しい議論を呼ぶことだろう。

●もし合併するとしたら、どれが良いと思いますか？―千葉県が提案した「2市2村（白井・印西・本埜・印旛）での合併」172人が1位。「鎌ヶ谷市との合併」129人を望む声も少なくない。

コミセン建設賛成は反対上回る

●梨ブランデー事業は、どうしたら良いと思いますか？―「ずぐに廃止すべき」168人がトップで、「民間に売却して存続させる」154人をほんの少し上回っている。

●コミュニティセンター建設はどうしたら良いと思いますか？―「お金を掛けず、市所有の土地に建てるべき」210人が「建設に反対」157人を大きく上回り、建設反対の市民は多数派でないことが判明した。

マンション建設に警鐘も

駅前の美観を大切に

●今後、市に何を望みますか？（ご自由にお書き下さい）―熱心に書き込む回答が目立つ。

合併については、「お金のことで合併するのは大きな間違いだ」「合併反対の住民投票の尊重」。賛成派も「国や県のいいなりにならない、市民の意見を聞いた合併を（鎌ヶ谷市と）」と自主独立の精神を強調する。

「旧住民とニュータウン住民との交流を広げる活動を市議会が積極的に取り組んでほしい」という意見がある一方で、「ニュータウン地区は独立すべき」の強硬派も。

白井市への評価は及第点？

高齢者対策の遅れに不安を抱く人が少なくない。「老齢者への福祉について他の自治体のような福祉事業が皆無」「高齢者住宅を建設して下さい」「平塚分校を利用して高齢者の健康スポーツ等の教育を具体化すべき」といった意見を各議員は真剣に聞くべきだろう。

マンション建設ラッシュに苦言も少なくない。「駅前に景観を損ねるマンションの建設には断固反対」「白井駅前にマンション建設予定で、現在駐輪場を廃止し、工事を開始している。誰が許可したのか？」など。

その他に、新鎌ヶ谷と白井の主要地区を結ぶシャトルバスの運行などナッシー号の有効利用を訴えたる声も複数あった。面白い意見もある。「2024年のオリンピック誘致」「油田の開発」など。夢があって楽しい。

●地域に点数をつけるとしたら（100点満点中）―平均点は60.44点。低くも高くもないといったところか。

白井駅近くに百円ショップ開店

珍しく酒類コーナーも

朝10時から夜8時まで営業

百円ショップ「ダイソー」は3月16日、白井大橋店（根143・5）をオープンした。白井市内では、西白井店に次いで2店舗目。白井駅周辺では唯一の百円ショップだ。

464号線沿いにあり、生鮮スーパー「ナリタヤ」は目と鼻の先。以前は「くすりの福太郎」だった。

150坪の店内には酒類コーナーもあり、タバコも販売しているのがユニークなところ。基本的に定休日はなく、朝10時から夜8時まで営業する。

普通車なら40台収容の駐車場も

4月12日 農産物直売所オープン

JA西印旛農産物直売所白井店（白井市木字278・1）が4月12日正午、国道16号線のレストラン「ステーキのドン」の隣にオープンする。「やおぱぁく」が一般から応募した愛称で、初日はオープン・イベントも予定。

農業者からの強い要望で、生産した安心で安全な農作物を地元で消費する「地産地消」を推し進めるのが、同直売所の目的。敷地面積は2731・47平米。

販売するのは、地元の梨、ネギ、大根、キュウリ、小松菜など農産物の他、弁当や惣菜、ふるさと産品の梨ブランデーなど70品目以上。玄米を買って、その場で精米することも可能だ。

とくに惣菜には、力を入れており、女性9人のグループ「きらり」が手作りを提供する。朝10時から夜6時まで営業するが、夏期は延長もある。

【問合先】JA西印旛直売センター（電話0476・48・2207）、4月2日以降は「やおぱぁく」（電話498・2007）へ。